

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.601

2023年1月31日

東海旅客鉄道労働組合

<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

令和4年度第3四半期決算について確認

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

JR東海ユニオンは、1月30日、令和4年度第3四半期決算の発表を受け、速やかに会社にお問い合わせ、確認を行ったところ以下の説明を受けた。

第3四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、東海道新幹線・在来線ともにご利用が増加したことなどから、連結営業収益は前年と比べ増加した。営業費は当社の物件費やグループ会社における売上原価の増等により増加したが、**増収・増益の決算**となった。なお、通期の業績予想は、前回予想を据え置いた。

引き続き、安全・安定輸送の確保を最優先に輸送機関としての使命を果たしつつ、コロナ禍の影響による厳しい経営状況から脱却すべく「業務改革」を推進するとともに、新しい発想による「収益の拡大」を実現することに挑戦し、経営体力の再強化に取り組むことを確認した。

JR東海ユニオンは『将来宣言』に基づいた労使関係をより強固にし、率直な意見交換を重ね、JR東海グループが一体となって、この難局を乗り越えていく。

□令和4年度第3四半期 連結決算の概要

科目	実績	前年度との差異	増減率
営業収益	10,191億円	+3,327億円	+48.5%
営業費	7,127億円	+635億円	+9.8%
営業利益	3,063億円	+2,691億円	+724.2%
経常利益	2,544億円	+2,691億円	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,806億円	+1,929億円	—

※確認内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。